

令和7年2月 7日

令和6年度 第3回学校運営協議会

1 授業参観 2時間目（9：55～10：45）の授業を参観いたします。

2 開会の言葉

3 校長あいさつ

4 協 議

- (1) 本日参観いただいた授業について質問等
- (2) 学校関係者評価について
- (3) 熟議・意見交換、懇談
- (4) その他

5 連 絡

次回の学校運営協議会日程

第4回 令和7年3月27日（木） 午後3時30分から

6 閉会の言葉

朝霞市小中学校 学校評価実施要綱

朝霞市教育委員会

(趣旨)

第1条 この要綱は、各小中学校における学校評価の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 学校評価は、次の目的のために実施する。

- (1) 各学校が、教育活動その他の学校運営について、その成果を検証することにより、組織的・継続的に改善を図る。
- (2) 各学校が、自己評価及び学校関係者評価を実施し、その結果の説明・公表により、保護者、地域住民から教育活動その他の学校運営に対する理解を得て、信頼される開かれた学校づくりを進める。
- (3) 市教育委員会が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の必要な措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図る。

(自己評価)

第3条 学校は学校運営の改善策を示すものとして、自己評価を行う。

- 2 児童・生徒、保護者等による評価は、自己評価を行う際の参考にする。

(評価項目)

第4条 市教委は、学校が行う自己評価について、市内共通項目を設定する。

- 2 学校は、市内共通項目に加えて、学校の実情に応じた評価項目を設定し、自己評価を行う。

(評価回数)

第5条 学校は、少なくとも年1回の自己評価を行う。

(自己評価の公表)

第6条 学校は、共通項目及び学校の実情に応じた評価項目で行った自己評価について、その評価結果、及びその分析に加え、それらを踏まえた今後の改善方策について、学校だより等により公表する。

(学校関係者評価)

第7条 学校は、自己評価の結果を踏まえた学校関係者評価を実施し、その結果の公表に努める。

- 2 学校関係者評価にあたっては、複数の学校関係者による学校関係者評価委員会（学校評議員やPTA、地域住民等の既存の組織を活用することも可）を設置して実施する。
- 3 学校運営協議会を設置している学校は、学校運営協議会で学校関係者評価を実施する。

(市教委への報告)

第8条 学校は、自己評価の結果、及び学校関係者評価を行った場合はその結果を、市教委へ報告書として提出する。

- 2 学校は、市教委への報告を3月中旬までに行う。
- 3 報告書には、学校評価の結果に加えて、それらを踏まえた今後の改善方策等について併せて記載する。

附 則

この要綱は、令和元年5月22日から施行する。

「様式1」 令和5年度 朝霞市学校評価

令和 年 月 日

「自己評価」(市内共通項目)評価書

朝霞第(一中)学校 氏名()

柱	No	評価項目	評価				改善策として考えられること
			A	B	C	D	
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。					
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。 (※いじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む)					
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。					
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。					
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。					
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。					
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。					
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。					
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。					
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。					

(注)

○それぞれの質問に対し、児童生徒、保護者や地域、学校全般を振り返り総合的に評価。

A:よくあてはまる B:ほぼあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない

★ 令和6年度 学校改善アンケート(学校評価) ★

1

学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる(※夏季休業期間の変更に伴う教育計画・活動の工夫を含む)。本校の学校教育目標は、「自立・貢献・信頼(自ら学ぶ生徒・思いやりのある生徒・健康に努める生徒)」となっております。

年度	生徒				保護者				職員			
	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減
2	98%	-	2%	-	94%	-	5%	-	100%	-	0%	-
3	98%	0	2%	0	97%	3	3%	-2	100%	0	0%	0
4	98%	-1	2%	1	97%	-1	3%	1	95%	-5	5%	5
5	97%	0	3%	0	91%	-5	9%	5	87%	-8	13%	8
6	97%	0	3%	0	93%	1	7%	-1	92%	5	8%	-5

4

教職員は、学力向上を目指し、生徒の実態にあわせて、わかりやすい授業をする努力をしている。

年度	生徒				保護者				職員			
	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減
2	97%	-	3%	-	90%	-	10%	-	98%	-	0%	-
3	98%	1	1%	-1	90%	0	9%	-1	97%	-1	3%	3
4	99%	1	1%	0	90%	0	10%	1	93%	-5	7%	5
5	97%	-1	3%	1	85%	-4	15%	5	87%	-6	13%	6
6	98%	1	2%	-1	83%	-2	17%	2	95%	8	5%	-8

2

学校は、安全・安心に配慮し、生徒が安心して学校生活できるように取り組んでいる(※いじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む)。

年度	生徒				保護者				職員			
	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減
2	94%	-	6%	-	93%	-	6%	-	100%	-	0%	-
3	98%	4	3%	-3	93%	1	6%	0	86%	-14	14%	14
4	95%	-2	5%	2	95%	1	5%	-2	95%	9	5%	-9
5	95%	0	5%	0	89%	-6	11%	6	90%	-6	10%	6
6	93%	-2	7%	2	91%	2	9%	-2	90%	0	10%	0

5

生徒は、「規律ある態度」を身に付けている。具体的には「時刻を守る」「身の回りの整理整頓をする」「進んで挨拶や返事をする」「丁寧な言葉づかいを身に付ける」「学習の決まりを守る」「生活の決まりを守る」を指します。

年度	生徒				保護者				職員			
	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減
2	92%	-	8%	-	91%	-	9%	-	92%	-	8%	-
3	93%	1	7%	-1	93%	1	7%	-1	100%	8	0%	-8
4	95%	2	5%	-2	90%	-2	9%	2	100%	0	0%	0
5	93%	-2	7%	2	95%	5	5%	-4	90%	-10	10%	10
6	94%	2	6%	-2	83%	-11	17%	11	82%	-8	18%	8

3

生徒は、教職員の指導により、基礎的・基本的な学力を身に付けている。

年度	生徒				保護者				職員			
	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減
2	83%	-	17%	-	86%	-	14%	-	96%	-	2%	-
3	82%	0	18%	0	90%	4	10%	-5	89%	-7	11%	9
4	85%	3	15%	-3	85%	-5	15%	6	95%	6	5%	-6
5	84%	-1	16%	1	84%	-1	16%	1	85%	-11	15%	11
6	85%	1	15%	-1	80%	-4	20%	4	97%	13	3%	-13

6

教職員は、生徒の様子を把握し、規律ある態度が身につくように取り組んでいる。

年度	生徒				保護者				職員			
	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減
2	96%	-	4%	-	93%	-	6%	-	96%	-	2%	-
3	98%	1	2%	-1	93%	0	6%	0	100%	4	0%	-2
4	97%	0	3%	0	94%	1	5%	-1	95%	-5	5%	5
5	96%	-1	4%	1	89%	-6	11%	6	92%	-3	8%	3
6	96%	0	4%	0	89%	0	11%	0	79%	-13	21%	13

※「ポジティブ」は、「あてはまる」及び「ほぼあてはまる」と答えた人数の割合

※「ネガティブ」は、「あてはまらない」及び「あまりあてはまらない」と答えた人数の割合

※「増減」は、前年度のポジティブやネガティブから増減した割合（パーセント）少数点以下四捨五入のため整数差とは異なることがあります

※項目により無記入の人がいたり、少数点以下を四捨五入したこと等により、合計が100%とならない箇所もあります

7

生徒は、体育の授業や運動部活動等の運動に意欲的に取り組んでいる。

年度	生徒				保護者				職員			
	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減
2	90%	-	11%	-	95%	-	5%	-	100%	-	0%	-
3	90%	1	10%	-1	95%	-1	5%	0	100%	0	0%	0
4	94%	4	6%	-4	93%	-2	7%	2	100%	0	0%	0
5	92%	-3	9%	3	96%	3	4%	-3	92%	-8	8%	8
6	90%	-1	10%	1	94%	-2	6%	2	100%	8	0%	-8

10

保護者や地域は、学校と協力し合い、生徒の安全指導・健全育成を推進している。

年度	生徒				保護者				職員			
	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減
2	93%	-	7%	-	89%	-	11%	-	85%	-	13%	-
3	93%	-1	8%	1	90%	1	9%	-2	84%	-2	16%	4
4	95%	2	5%	-2	84%	-6	16%	6	88%	4	12%	-4
5	95%	0	5%	0	85%	0	15%	0	87%	-1	13%	1
6	94%	-1	6%	1	84%	0	16%	0	92%	5	8%	-5

8

学校は、生徒の体力を高めるため、工夫をして向上に努めている。

年度	生徒				保護者				職員			
	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減
2	94%	-	6%	-	93%	-	7%	-	96%	-	2%	-
3	96%	3	4%	-3	89%	-3	10%	2	89%	-7	11%	9
4	95%	-1	5%	1	88%	-1	12%	2	95%	6	5%	-6
5	96%	1	4%	-1	88%	0	12%	0	92%	-3	8%	3
6	93%	-2	7%	2	88%	0	12%	0	97%	5	3%	-5

9

学校は、保護者や地域と連携し、みんなで生徒を良くしようと努力している。

年度	生徒				保護者				職員			
	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減	ポジティブ	増減	ネガティブ	増減
2	92%	-	8%	-	91%	-	9%	-	94%	-	4%	-
3	91%	-2	9%	2	90%	-1	9%	1	78%	-15	22%	17
4	94%	3	6%	-3	87%	-3	13%	4	88%	10	12%	-10
5	94%	0	6%	0	87%	1	13%	-1	87%	-1	13%	1
6	92%	-2	8%	2	88%	1	12%	-1	92%	5	8%	-5

自由記述欄における保護者・生徒からの意見（一部抜粋）

<生徒>

<保護者>

令和 7 年 2 月 7 日

学校運営協議会委員各位

朝霞市立朝霞第一中学校
校長 唐 松 善 人

令和 6 年度第 4 回学校運営協議会の開催について

春寒の候、貴台におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
また、日頃より本校教育の充実のため格別のご配意を賜っておりますことに、
深く感謝申し上げます。

さて、令和 6 年度第 4 回学校運営協議会を下記のとおり開催いたします。

つきましては、ご多用とは存じますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

- | | | |
|---|-----|---|
| 1 | 日 時 | 令和 7 年 3 月 2 7 日（木）午後 3 時 3 0 分～ |
| 2 | 場 所 | 朝霞市立朝霞第一中学校 2 階特別活動室 |
| 3 | 内 容 | (1) 学校長あいさつ
(2) 令和 7 年度学校経営方針について
(3) 意見交換・熟議、懇談
(4) その他 |

コミュニティ・スクール制度化20周年記念フォーラム



コミュニティ・スクールの



“これまで”と“これから”

令和6年秋にコミュニティ・スクール制度化20周年を迎えました。

これまでの取組を振り返るとともに、さらなる取組加速の契機となるよう、本フォーラムを開催します。

令和7年 **2月28日** **金** 13:30～16:30

13:30～13:45

✓ 開会行事

13:45～14:00

✓ 感謝状授与式

✓ CS推進名誉マイスター任命式

✓ 20周年記念コンクール表彰式

14:10～15:10

✓ 記念講演 貝ノ瀬 滋氏

(全国コミュニティ・スクール連絡協議会 顧問／三鷹教育・子育て研究所 所長)

15:20～16:20

✓ パネルディスカッション

審査講評 増渕 広美氏 (青少年と家族の未来研究所 代表)

登壇者 鈴木 寛氏 (東京大学公共政策大学院 教授)

吉松 英樹氏 (山口市立島地小学校 校長)

福島県楡葉町立楡葉中学校 代表生徒

大阪府立富田林高等学校 代表生徒

司会 志々田 まなみ氏 (国立教育政策研究所 総括研究官)

16:25～16:30

✓ 閉会行事

ハイブリッド開催

本フォーラムは、同日午前開催の表彰式参加者及び来賓のみ会場にて参加しています。

一般参加者の方は、オンライン配信をご視聴いただけます。



主催 文部科学省
問合せ先 文部科学省総合教育政策局
地域学習推進課
03-5253-4111(内線3720)

必ず事前申込の上、視聴してください。 申込締切 2月27日(木)17:00

資料等の連絡は、申込いただいた連絡先に送付します。

申込URL <https://forms.office.com/r/6ngZX4J9sf>

視聴URL <https://youtube.com/live/ZcaCXA6Z16A?feature=share>

【申込】 【視聴】

